

～藝大 21～

2019 年度

第 14 回奏楽堂企画学内公募

応募要項 & 申し込み用紙

演奏藝術センターでは、学内の芸術活動のより一層の活性化を目指して、2005 年度(平成 17 年)より「奏楽堂企画学内公募」をスタートさせました。これは藝大で学ぶ学生たちに呼びかけて、奏楽堂で上演することを前提とした企画を公募するコンペティションです。応募企画は「第 14 回奏楽堂企画選考委員会」で審査検討し、最優秀企画一編を演奏藝術センター企画として奏楽堂で上演いたします。奏楽堂で皆さんの企画を実現できるまたとないチャンスですので、ふるってご応募ください。

2019 年 5 月

演奏藝術センター長 河野 文昭

応募締切り

2019年10月4日(金)

問合わせ

演奏藝術センター

050-5525-2465 (内6150)

奏楽堂企画応募要項

応募資格

東京藝術大学音楽学部・美術学部、大学院に在学するすべての学生
二人以上のグループでの応募も認めるが、企画者は全員在校生であること

募集ジャンル

コンサート、イベント等ジャンルは問わない。ただし藝大ならではのあるいは藝大でなければ実現できない、従来の枠に捉われない斬新な発想を期待する。

予算

100万円を上限とし、この中には次のものを含む

- ・ 出演料ほか上演にかかる経費
- ・ チラシ、プログラム等制作費
- ・ 照明、舞台等シグマの増員分ならびに時間外勤務に関わる経費

注①藝大生の出演者・スタッフへの謝金、ケータリング費の支払いは認められない

②奏楽堂のホール使用料、会場整理要員の経費は大学が負担する

③万が一、赤字が生じた場合は自己負担となるので注意すること

応募方法

所定の用紙(演奏藝術センター教員室に用意)に企画概要等、必要事項を記入し提出する。必ず予算も記入すること。

応募締切り

2019年10月4日(金) 17:00 厳守

提出先

演奏藝術センター教員室(音楽学部内 4号館 212室)

審査ならびに発表

書類審査⇒企画者との面談による聞き取り⇒最終選考会議

※発表は10月下旬の予定

選考委員長

河野 文昭(演奏藝術センター長)

選考委員メンバー(五十音順) <2019年度メンバー>

植村 幸生(音楽学部楽理科)、小鍛冶 邦隆(音楽学部作曲科)

後藤 英(音楽学部音楽環境創造科)、古川 聖(美術学部先端芸術表現科)

山崎 宣由(美術学部デザイン科)、吉田 浩之(音楽学部声楽科)

審査基準

- ①斬新でオリジナルな企画であること
- ②藝大奏楽堂で上演が可能であること
- ③出演者は藝大関係者を主要メンバーとすること

奏楽堂における上演

最優秀に選ばれた企画は、企画者を含め選考委員、あるいはそのほか必要メンバーとの討議によるブラッシュ・アップを経て、当該年度中に奏楽堂の企画として上演する(2020年3月27日(金))。

なお、本番前日に奏楽堂でのリハーサルが可能。

上演の際の協賛・協力について

企画者が予算の補助のため、外部より協賛・協力を受けることは可能であるが、事前に下記担当者に相談すること(「協賛依頼・募金のルール」を参照)。

問い合わせ先

演奏藝術センター 050-5525-2465 内 6150

運営委員：楠田健太(演奏藝術センター准教授)

kusuda.kenta@ms.geidai.ac.jp

応募に当たっての注意事項

(1)実現可能性を十分に吟味すること

企画決定後、実施段階で「あれもやりたい、これもやりたい」とどんどんイメージがふくらんで、収拾がつかなくなるケースが見受けられます。自由に発想することは大切ですが、結果について見通しを持っていることが必要です。日程的にも予算的にも、無理のない計画を心がけてください。

(2)出演者、スタッフは出来るだけ学内関係者で集めること

照明、大道具、舞台監督など専門性の高い仕事を外部に委託するのはやむを得ませんが、出演者、特に演奏者はよほど特殊な楽器でなければ、基本的には学内で調達できるはずです。出来るだけ外部に頼らず、学内関係者で集めてください。特に規模が大きくなる場合は、企画提出以前に主要メンバーに打診するなど、ある程度、出演者のあたりをつけておくこと。

(3)企画が選ばれたらなるべく早く準備をスタートさせること

時間はあっという間に過ぎます。例年、本番間際になってバタバタするケースが多いので、迅速に準備作業を進める必要があります。ただし、進行状況は逐一演奏藝術センターに報告し、センター教員とよく相談しながら進めること。特にシグマなどの外部スタッフとの意思疎通が不十分なため、本番時に望んだ成果が得られないケースが間々見られます。

(4)疑問点があれば相談すること

企画検討段階、あるいは企画決定後に関わらず、疑問点があればいつでも相談に乗ります。判断に迷う場合は、遠慮なく演奏藝術センターに連絡してください。特に金銭の支払いが生じる場合は、必ず事前に連絡を入れること。学生の立て替え払いは原則として認められないので、事前に連絡がない場合、学校から支払うことが出来ず、自己負担になるケースもあります。また事前連絡の有無にかかわらず、藝大生の出演者・スタッフへの謝礼、ケータリング費の支払いは認められないので注意すること。

楠田健太(演奏藝術センター准教授)

kusuda.kenta@ms.geidai.ac.jp

TEL 050-5525-2465 FAX 03-5685-7728